

地方公共団体等と連携した「みどりの食料システム戦略」の独自PR活動

みどりの食料システム戦略について、一般消費者等への幅広い理解を得るため、栃木県、県内各市町及びJAと連携し、各種イベントや市町庁舎内において拠点独自のPR活動を実施した。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

拠点における令和4年度までの取組状況について、県内の関係機関や県民等への周知が不足していたことから、令和5年度から拠点一体の推進体制を構築し、様々な階層の方に幅広く本施策を知ってもらうようなアイデアや手法を考えながら、拠点内での情報共有や連絡を密にして前広な活動を展開した。また、これまでに事例のない拠点独自に工夫したPR方法を事務局内で検討し、栃木県及び県内全25市町への連携・協力依頼を行い、みどり戦略を県内幅広く理解（浸透）してもらうための取組を強化することとした。

○ 取組の内容

一般消費者を中心に県民への幅広い理解を得る必要があることから、栃木県と連携して、道の駅やアウトレット等の人が多く集まる休日のイベントへ参加し、PR動画の投影やチラシ配布を実施した。また、県内全25市町へ足を運んで協力を依頼し、庁舎内の待合場所等を利用したPR活動を実施した。更には、さくら市との連携による駅前でのプロジェクションマッピングによる施策紹介も実現した。

○ 効果・成果、今後の方向性

人が多く集まる場所でのPR活動の中で、プロジェクションマッピングによる施策紹介はインパクトがあり、新聞にも掲載され、政策・施策の浸透効果は飛躍的に上昇した。今後も新たなPR活動等にチャレンジして、更に効果的な情報発信を行い、みどり戦略の実践的な取組支援に役立てたい。



住民を対象とした市町庁舎内でのPR活動



プロジェクションマッピングによる施策紹介

推進体制図

